



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月13日  
東

上場会社名 株式会社RVH 上場取引所  
コード番号 6786 URL <https://rvh.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荻野 善之  
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 佐藤 範生 (TEL) 03-6277-8031  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,163	20.6	△43	—	△25	—	△33	—
2024年3月期第3四半期	965	△1.0	△163	—	△141	—	△139	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △32百万円( —%) 2024年3月期第3四半期 △137百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	△1.32	—
2024年3月期第3四半期	△5.51	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,263	949	75.1
2024年3月期	1,295	981	75.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 949百万円 2024年3月期 981百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

連結業績予想につきましては、現時点では合理的な算定が困難であることから、未定とさせていただきます。今後業績予想の合理的な算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	25,321,760株	2024年3月期	25,321,760株
2025年3月期3Q	734株	2024年3月期	650株
2025年3月期3Q	25,321,058株	2024年3月期3Q	25,321,111株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等により、景気は緩やかに回復が見られました。一方で、中東やウクライナ情勢の影響によるエネルギー価格や原材料価格の高止まり、中国経済の先行き懸念、自然災害の発生による消費マインドの停滞、アメリカの今後の政策動向による影響等、依然として景気は先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業が属する情報サービス産業においては、コロナ禍以降のビジネス様式の変化や多くの業界における人材不足などを背景として、あらゆる領域で引き続きDX化の取り組みが進められており、企業の業務効率化・自動化や生産性向上を図るため、特にAI、テレワーク、セキュリティ関連の技術を中心としたITサービスの需要が継続している状況であります。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高1,163,887千円(前年同期比20.6%増)、営業損失43,726千円(前年同期は営業損失163,106千円)、経常損失25,668千円(前年同期は経常損失141,893千円)、税金等調整前四半期純損失25,668千円(前年同期は税金等調整前四半期純損失141,893千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失33,398千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失139,602千円)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、当社グループの報告セグメントは、従来「システム開発」「再生可能エネルギー」「その他」の3つのセグメントでありましたが、中間連結会計期間より、事業区分及び事業活動の実態を適切に表すとともに、事業内容を明瞭に表示する目的で、報告セグメントの区分を「システム開発」「再生可能エネルギー」「資産運用関連事業」「その他」に変更しております。

#### ① システム開発

「システム開発セグメント」は、システムエンジニアリング及びバックオフィス関連業務等の専門性の高い業務に対応できる人材を派遣する「人材派遣サービス事業」、企業の業務効率化・コスト削減に貢献するために付加価値の高いIT関連サービスをワンストップで提供する「システム開発事業」、「PCデータ消去・リサイクル事業」、プリンターや通信機器等の組込システム・各種業務システム・健診システム、ポータルWEBサイト構築・サーバー環境設計/構築/運用/保守・簡易外観検査装置等の「受託開発事業」、医用画像表示ソフトウェアの販売等の「産業用グラフィックス事業」を行っております。当該事業は、主に、1)人材派遣サービス事業及びシステム開発事業、2)受託開発事業及び産業用グラフィックス事業から構成されておりますが、各々の事業内容及び経営成績は以下のとおりであります。

##### 1) 人材派遣サービス事業及びシステム開発事業

当第3四半期連結累計期間においては、売上高は、人材派遣サービス関連案件の安定的な受注獲得があった一方、受託開発案件の受注が減少したこと等により前年同期比減収で推移いたしました。利益面では、売上高減少に伴う減益要因があったものの、PCリサイクル事業において中古PC販売の取扱数量が増加したこと、一部受託開発案件の利益率が向上したことなどにより、前年同期比増益で推移いたしました。

##### 2) 受託開発事業及び産業用グラフィックス事業

当第3四半期連結累計期間においては、売上高は、既存顧客からの開発案件の受注が堅調に推移したこと等により前年同期比増収で推移いたしました。利益面では、中間連結会計期間において一部開発案件のトラブル対応に係る工数が予定外に増加したこと、月次受注増減幅が例年と比較して大きく一時的に効率が悪化したこと等により、前年同期比減益で推移いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は851,396千円(前年同期比3.4%減)となり、セグメント利益は49,125千円(前年同期比11.1%減)となりました。

② 再生可能エネルギー

「再生可能エネルギーセグメント」は、太陽光発電設備の企画・設計、再生可能エネルギーに係るコンサルティング、北海道宗谷郡に所有する風車発電所を利用した電力販売等を行っております。当該事業は、主に、1) 太陽光発電関連事業、2) 風力発電事業から構成されておりますが、各々の事業内容及び経営成績は以下のとおりであります。

1) 太陽光発電関連事業

当第3四半期連結累計期間においては、売上高は、蓄電所向け用地の調査及び電力申請に関するサポートに関する受託案件を実施したこと等により、前年同期比増収で推移いたしました。費用面では、営農型太陽光発電事業の大幅な事業規模縮小に伴い、前年同期と比較して人件費や業務委託費ほか販売管理費の大半が減少したため、利益面は前年同期比で赤字縮小にて推移いたしました。

2) 風力発電事業

当第3四半期連結累計期間においては、売上高は、発電量が例年と比較して減少傾向となったこと、夏季に発生した落雷停電の影響により風力発電機が一定期間停止したこと等から前年同期比減収で推移いたしました。費用面では、売上高減少に伴う減益要因に加え、落雷停電に伴い発電設備の点検・補修に係る保守費が発生したこと、2024年4月より発電設備に係る水道光熱費が発電事業者負担となったこと等により、利益面は前年同期比減益で推移いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は30,094千円（前年同期比26.7%減）、セグメント損失は22,871千円（前年同期はセグメント損失104,866千円）となりました。

③ 資産運用関連事業

「資産運用関連事業セグメント」は、事業者向けファクタリングサービス、区分所有マンションの短期転売を中心とした不動産売買事業等を行っております。当該事業は、主に、1) ファクタリング事業、2) 不動産売買事業から構成されておりますが、各々の事業内容及び経営成績は以下のとおりであります。

1) ファクタリング事業

当第3四半期連結累計期間においては、2024年7月の事業者向けファクタリングサービス開始以降、積極的な契約獲得活動に注力したことにより、当第3四半期連結累計期間のファクタリング取扱高（債権回収総額）は1,025,980千円、事業売上高104,310千円、事業利益は23,521千円と好調に推移いたしました。

2) 不動産売買事業

当第3四半期連結累計期間においては、都内近郊の区分所有マンションの短期転売に向けた市場調査及び物件仕入等、収益化に向けた先行投資活動を実施するとともに物件販売活動に従事したことにより、事業売上高146,409千円、事業損失4,139千円で推移いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は250,719千円、セグメント利益は19,381千円となりました。

④ その他

当セグメントの売上高は32,847千円（前年同期比26.4%減）、セグメント損失は20,401千円（前年同期はセグメント損失10,773千円）となりました。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,014,408千円(前連結会計年度末と比較して65,961千円増)となりました。これは主に、現金及び預金が174,476千円減少したこと及び受取手形及び売掛金が8,673千円減少した一方、未収入金が176,665千円増加したこと、流動資産のその他が67,627千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は249,037千円(前連結会計年度末と比較して98,500千円減)となりました。これは主に、投資その他の資産のその他が79,823千円減少したこと、のれんが7,127千円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は1,263,445千円(前連結会計年度末と比較して32,539千円減)となりました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は198,333千円(前連結会計年度末と比較して8,298千円増)となりました。これは主に、賞与引当金が13,325千円減少したこと及び未払法人税等が4,922千円減少した一方、支払手形及び買掛金が7,238千円増加したこと、短期借入金が11,600千円増加したこと等によるものであります。

固定負債は115,697千円(前連結会計年度末と比較して8,266千円減)となりました。これは主に、退職給付に係る負債が1,344千円増加した一方、長期借入金が9,638千円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は314,031千円(前連結会計年度末と比較して32千円増)となりました。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は949,414千円(前連結会計年度末と比較して32,571千円減)となりました。これは主に、所有する株式の時価評価に関するその他の有価証券評価差額金が831千円増加した一方、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により利益剰余金が33,398千円減少したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期につきましては、主要事業であるシステム開発事業領域において、引き続き新規顧客獲得に向けた営業活動の強化を図るとともに人材採用・育成の強化により収益率の向上に努めることで、更なる収益基盤の拡大と利益の確保を目指す方針としております。再生可能エネルギー事業領域においては、蓄電所向け用地の調査及び電力申請に関するサポートに関する受託業務を実施しており、事業規模縮小による着実な売上確保及び赤字縮小を目指す方針であります。

また、当社グループは、2025年3月期第2四半期より、当社グループの業容拡大及び安定的な収益確保を目的として、区分所有マンションの短期転売を中心とした不動産売買事業およびファクタリング事業を開始しており、当第3四半期の実績を踏まえ同事業が2025年3月期の通期連結業績に与える影響を精査中であります。

従いまして、現段階においては2025年3月期の業績予想を未定とさせていただき、今後、業績予想の合理的な算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

## (4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2019年3月期以降、6期連続して営業損失を計上しており、当第3四半期連結累計期間においても営業損失の状態が継続していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社グループといたしましては、当該事象又は状況を早期に解消するため、主要事業であるシステム開発セグメント各社において、営業活動の強化や人材採用・育成の強化等による売上高の伸長を図るとともに、受託開発案件の積極的な内製化等によるコスト削減に努めることで収益体質の早期改善に取り組んでまいります。また、これら既存事業の強化に加え、新規事業領域における新たな収益基盤の構築を目指し、当社グループの安定した収益力の確保と企業価値向上に努めてまいります。

なお、財務面においては、当面の事業資金を確保していることから資金繰りにおいて必要な懸念はありません。

以上により、当社グループにおいては、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	626,298	451,821
受取手形及び売掛金	174,375	165,701
商品及び製品	5,904	9,263
仕掛品	13,101	14,562
原材料及び貯蔵品	15	13
未収入金	32,734	209,400
その他	96,017	163,644
流動資産合計	948,446	1,014,408
固定資産		
有形固定資産	77,177	68,209
無形固定資産		
のれん	80,773	73,646
その他	18,405	15,552
無形固定資産合計	99,179	89,199
投資その他の資産		
その他	182,490	102,667
貸倒引当金	△11,308	△11,038
投資その他の資産合計	171,181	91,628
固定資産合計	347,538	249,037
資産合計	1,295,984	1,263,445

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,795	10,034
短期借入金	21,000	32,600
未払法人税等	11,486	6,564
賞与引当金	23,934	10,609
その他	130,819	138,526
流動負債合計	190,035	198,333
固定負債		
長期借入金	98,328	88,690
退職給付に係る負債	3,144	4,488
資産除去債務	13,425	13,485
その他	9,066	9,034
固定負債合計	123,963	115,697
負債合計	313,999	314,031
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,917,377	1,917,377
利益剰余金	△1,044,307	△1,077,705
自己株式	△370	△376
株主資本合計	972,699	939,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,285	10,117
その他の包括利益累計額合計	9,285	10,117
純資産合計	981,985	949,414
負債純資産合計	1,295,984	1,263,445



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	965,352	1,163,887
売上原価	664,765	782,530
売上総利益	300,587	381,356
販売費及び一般管理費	463,693	425,083
営業損失(△)	△163,106	△43,726
営業外収益		
受取利息	5,025	3,811
受取配当金	9,140	14,248
助成金収入	7,760	570
その他	1,063	1,472
営業外収益合計	22,991	20,102
営業外費用		
支払利息	1,734	1,934
その他	43	110
営業外費用合計	1,778	2,044
経常損失(△)	△141,893	△25,668
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△141,893	△25,668
法人税、住民税及び事業税	8,050	7,477
法人税等調整額	△10,341	251
法人税等合計	△2,291	7,729
四半期純損失(△)	△139,602	△33,398
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△139,602	△33,398

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純損失(△)	△139,602	△33,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,996	831
その他の包括利益合計	1,996	831
四半期包括利益	△137,605	△32,566
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△137,605	△32,566
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	システム 開発	再生可能 エネルギー	資産運用 関連事業	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	879,687	41,051	—	44,613	965,352	—	965,352
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,070	—	—	—	2,070	△2,070	—
計	881,757	41,051	—	44,613	967,422	△2,070	965,352
セグメント利益又は損失(△)	55,275	△104,866	—	△10,773	△60,364	△102,741	△163,106

(注) 1. セグメント損益の調整額△102,741千円には、セグメント間取引消去42,327千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△145,068千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	システム 開発	再生可能 エネルギー	資産運用 関連事業	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	850,226	30,094	250,719	32,847	1,163,887	—	1,163,887
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,170	—	—	—	1,170	△1,170	—
計	851,396	30,094	250,719	32,847	1,165,057	△1,170	1,163,887
セグメント利益又は損失(△)	49,125	△22,871	19,381	△20,401	25,234	△68,961	△43,726

(注) 1. セグメント損益の調整額△68,961千円には、セグメント間取引消去67,027千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△135,988千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、従来「システム開発」「再生可能エネルギー」「その他」の3つのセグメントでありましたが、中間連結会計期間より、事業区分及び事業活動の実態を適切に表すとともに、事業内容を明瞭に表示する目的で、報告セグメントの区分を「システム開発」「再生可能エネルギー」「資産運用関連事業」「その他」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

## (キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	15,176千円	14,869千円
のれんの償却費	96,231	7,127

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。